

焼き芋配布会かわら版

12/13 焼き芋配布会開催



12月13日に前橋市広瀬町に位置する広瀬団地のうち、群馬県住宅供給公社所有の4棟の団地内広場において、団地で定期的に行われる清掃活動に併せて、焼き芋配布会を実施した。

今後本格的に始動するLSP活動の第一歩目という位置づけで、団地住民を含めた地域の方々が集まり、焼き芋を食べながら直接話

す機会を計画したものである。

このイベントを通して、普段話すことのない人達と意見交換をしたり、落ち葉で作った焼き芋を食べるといった、現在の広瀬団地において非日常的な経験ができる機会となった。

なお、本イベントは感染症対策を徹底した上で実施されている。

1. 団地の落ち葉について

広瀬団地の現状を深く知るために、団地住民の方々を対象とし、団地の公共空間と地域コミュニティに関するアンケート調査を実施した。その中でも最も多く書かれていたのが、隣接する飯玉神社の木々から落ちる枯れ葉の処理に困っているという声であった。団地内広場を訪れると、まるで落ち葉が絨毯のように敷き詰められているような現状を確認することができた。



焼き芋配布会の概要

2. 配布会当日の流れ



焼き芋配布会は清掃活動で集めた落ち葉をコンクリートブロックの囲いの中で炭と一緒に燃やし、濡れた新聞紙とアルミホイルで包んださつまいもを囲いの中で焼き、地域の方々を提供するという流れで行った。当日はおよそ30人の地域の方々が集まり、感染症対策を徹底した上で安全に行われた。焼き芋を配布した後、学生から住民の方々へ本イベントや地域コミュニティに関するヒアリングを行い、普段の広瀬団地からはあまり感じられなかった。賑やかな雰囲気を感じられた。

実施後考察

焼き芋配布会終了後の広場は見違えるほどきれいになっており、落ち葉を集めた袋の数は数えきれないほどの量になってきたことから、住民の方々が落ち葉清掃に相当苦勞されていたことが窺える。

また、配布会で実施したヒアリング結果によると、大半の方が今回のような団地でのイベントに初めて参加していることが分かった。ご参加いただいた方々からは、今後こういった機会があればまた参加したいという声を多くいただいたため、今回の焼き芋配布会は団地コミュニティ再生の土台作りとしてとても機能していると考えられる。

今後の予定

直近の予定として、3月、4月頃に住宅供給公社主体で、団地入口花壇の整備ワークショップを検討している。

また、4月から前橋工科大学の学生数名が団地に住み始める予定であるため、それに応じた準備等がスタートしていく。